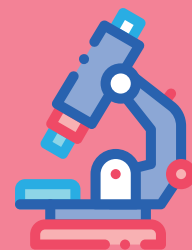


高度バイオセーフティ・バイオセキュリティ研修

令和4年3月10日実施

研修先：長崎大学感染症共同研究拠点



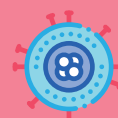
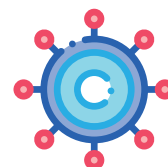
活動目的

高度なバイオセーフティ・バイオセキュリティを達成するための技術基盤を理解するとともに、高度なバイオセーフティ・バイオセキュリティ条件下で研究を行うために必要な教育訓練について理解する。



活動内容

長崎大学で取り組んでいる、あらゆる病原体に対応可能なバイオセーフティ・バイオセキュリティに関する技術基盤の整備やトレーニングプログラムの策定等について、現地に赴いて、長崎大学教員による設備・技術紹介や模擬的なトレーニングの体験等の研修を受ける事により、高度なバイオセーフティ・バイオセキュリティに関しての理解を深める。



板倉 友香里さん（卓越1期生）の感想

本研修は、さまざまな病原体を用いた研究を遂行するために、高度なバイオセーフティ及びバイオセキュリティを1から作り上げることについて、初めて考える機会となりました。安全に研究を遂行するために、ハード面だけでなくソフト面においても、あらゆるリスク・課題が検討され、その上で高度なバイオセーフティ及びバイオセキュリティが成り立つことが理解できました。特に、研究者や施設を直接管理運営者だけでなく、自治体や地域住民の理解の元に、研究できる環境があることを実感しました。さまざまな観点からバイオセーフティ及びバイオセキュリティについて考えることは非常に興味深く、今後こうした分野に携わる研究を進めていく上で、貴重な経験となりました。